

学校だより アンケート特集号

平成30年9月
京都市立桂東小学校
校長 和田 英明

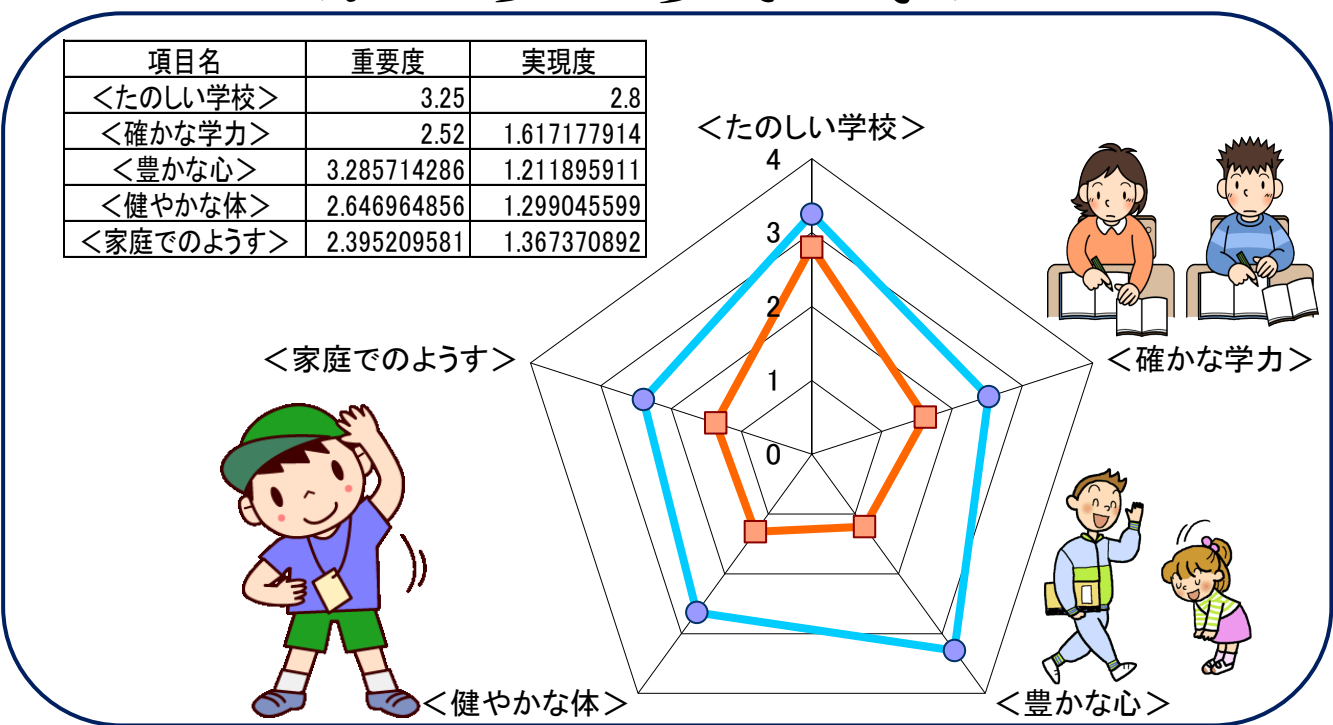
7月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいています。

これは『大切であるのに、現実には出来ていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきます。

<レーダーチャート>

項目名	重要度	実現度
<たのしい学校>	3.25	2.8
<確かな学力>	2.52	1.617177914
<豊かな心>	3.285714286	1.211895911
<健やかな体>	2.646964856	1.299045599
<家庭でのようす>	2.395209581	1.367370892



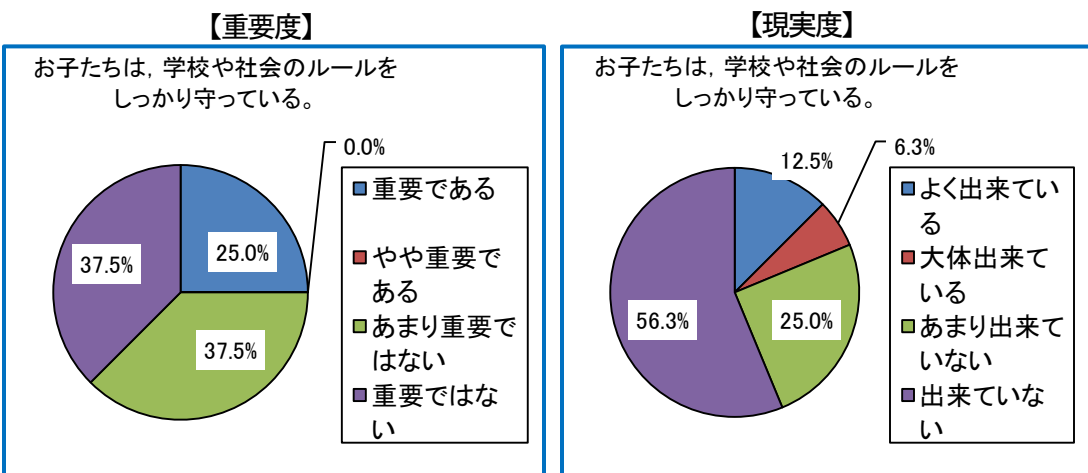
大切なのに出来ていないこと

上記のレーダーチャートでは、保護者の皆様が重要であると考えているにもかかわらず、それが出来ていないことを表しています。その中でも<豊かな心>の項目で、重要度と現実度にもっとも大きです。<豊かな心>では、「あいさつ、時間を守る、履物をそろえるがしっかりできて」「友だちとなかよく遊んでいる。」「学校や社会のルールをしっかり守っている。」の3点を保護者の方にお尋ねしています。その中の「あいさつ、時間を守る、履物をそろえる」については、学校では「あいさつ・ベル着・トイレのスリッパ」を合言葉に“人・もの・時間を大切にするを育成する”ことを目指して取り組んでおります。学校の中では、この3つの視点の行動はほぼ

出来つつあります。ところが、あいさつについては、“誰にでも…”というのは恐いと感じられる保護者の方もおられるようです。恐いというのは、とてもさみしい時代になったと思います。昨今の世相もあり、いろいろな考えがあることは承知しておりますが、あいさつは人の心と心をつなぐ大切なことで「豊かな心」を育てていくことにつながっていくことだと思います。ご家庭でもお子たちに、あいさつの大切さを指導していただければ…と思います。せめて顔見知りの人には、しっかりあいさつできるようにしていきたいものです。

あいさつをはじめ、時間を守ることも、履物をそろえることも、その時のその人の心の有り様をあらわしているようにも思います。

「時を守り、場を清め、礼を正す」人として大切なことが集約されている言葉のように思います。まず、わたしたちから襟を正していきたいです。



「学校や社会のルールをしっかり守っている。」の児童アンケートの実現度では、“よく出来る”が80%後半を示しています。保護者アンケートの重要度では、“よく出来る”が25%であったのに、実現度はちょうど半分の12.5%です。学校では、全体的には子どもどうしのトラブルも少なく、落ち着いた学校生活を送っているように思えるのですが、個々に子どもたちを見ていくと気になることも見えてくるのか、保護者の皆様の目から見て、出来ていないようです。

スポーツを例に挙げ、ルールの重要性を説明していくことがあります。ルールがあるからこそ、みんなが安全に安心してスポーツを楽しむことができます。

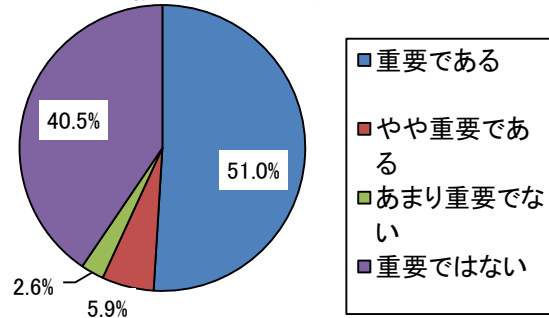
わたしたちの日常の生活も同じで、社会のルールをみんながしっかり守るから、だれもが安心・安全に過ごせ、充実した生活を送ることができます。そのことが「ものを大切にする。」

「命あるものを大切にする。」ことにつながっていきます。そして、だれもが穏やかな気持ちになり、人を思いやる心も育っていきます。子どもたちは大人の後ろ姿をよくみていると思います。気をつけていきたいと思います。

よく出来ていること

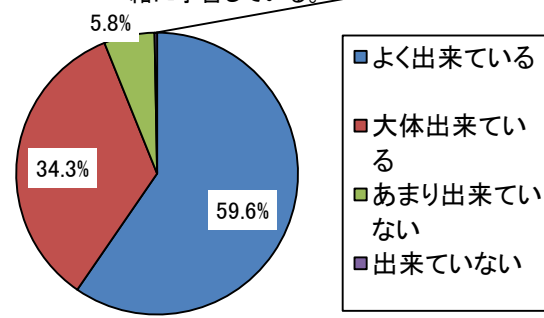
【重要度】

お子たちは、自分の考えをしっかりと発表したり、友だちの意見をしっかりと聞いたりして、友だちと一緒に学習している。



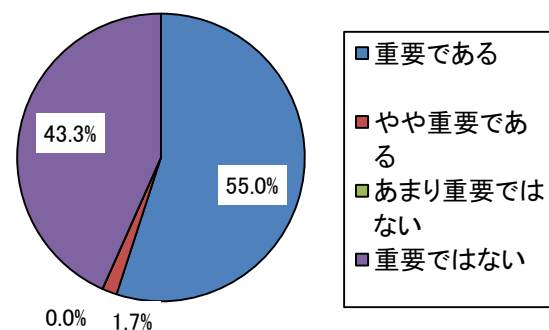
【実現度】

お子たちは、自分の考えをしっかりと発表したり、友だちの意見をしっかりと聞いたりして、友だちと一緒に学習している。



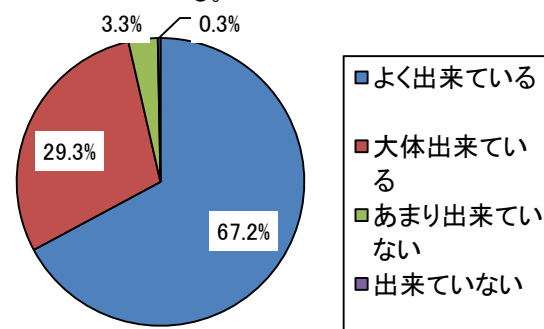
【重要度】

お子たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。



【実現度】

お子たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。



児童アンケートの現実度では、「自分の考えをしっかりと発表したり…」「家庭学習の習慣…」も“よく出来ている”が0%で“大体出来ている”が約70%を示しています。保護者アンケートでは、この2項目については、重要度も現実度もよい結果となっています。この温度差については、各ご家庭でお子たちとそれぞれの思いのズレがどこにあるのかをしっかりと話し合っていただき、家庭での主体的な学習のあり方を親子で共通理解できれば家庭におけるお子たちの主体的な学習につながっていくと思います。

学校でも、子どもの“主体的な学び”をつくることが大事であると考えています。そこで、学校での“学び合いのある授業”“系統的な学習の継続”，そして家庭での“自主的な学習の継続”の三つがうまくリンクして機能することによって、自ら進んで学習する子どもの育成につながっていくと考えています。学校では自分の考えをしっかりと発表したり、お友だちの意見をしっかりと聴いたりして、みんなと一緒に学習します。学習場面によっては、目的を明確にした子ども同士の協働を取り入れながら課題の発見・解決に向けた主体的・対話的な学びを重視し、「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できるような授業を目指して日々取り組んでいます。

自由記述欄に関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

- アンケートとは関係ないのですが、先日の地震の際、登校班の集合したところでしたので、登校させるべきか迷いました。登校の間、何かが落ちてくる、崩れる危険性を考えると、登校を見合わせることも正しい判断だと思いました。あのような場合、どうすべきか検討の上、ルールを決めておく必要があるのではないのでしょうか？
- 先日の地震の際には、子供達の安全確保に、又、保護者への敏感な対応をして頂き、ありがとうございました。登校中だったため、登校班で固まり、落ちついて行動できたようですが、中には遅れてくる高学年や中学年が常態化している班もあるので、今一度、集団登校の大切さや上級生の意識等を見直す機会があればと思います。
- 地震や豪雨時、自ら防災準備を整える子供達を見て、学校での避難訓練が実生活に生かされていると感じました。たくさんの事を学ばせて頂き、ありがとうございます。
- 勉強はもちろんですが、学校は人との付き合い方を学ぶところと思ってます。ご指導よろしくお願いします。
- 学校は人の付き合いを学ぶ所なので、楽しさばかりでなく、しんどさ、厳しさも我が子には知ってほしいです。そして、社会の耐性を少しでもつけてほしい。いつもありがとうございます。
- 休み時間や放課後にプリント？の直しがあるので遊べなくて楽しくないと言っていました。作業内容の理解を深める為に、限られた時間の中で指導して頂いているので、必要な事でありがたいと親は感じています。事前にそういった指導があると連絡頂ければ、こちらからも何故それをするのか説明できたので、子どもの不満は少し解消できたのでは、と思います。
- 学校給食に関して、上記設問＜健やかな体＞2. 健康や好ましい食生活という観点から各家庭に於ける食生活、食育を尊重していただきたい部分はあります。
- 学校内で感染症の病気が流行っている場合や他のクラス、学年で学級閉鎖があった場合は、予防のためにも、HP上で連絡して欲しいです。
- 先日、小学校で携帯やネットの使い方の教育講座に参加しました。ゲーム依存やSNSの怖さなど、5年生の子供にも知って考えて欲しいと思いました。
- いつもお世話になり、有難うございます。生活態度など、まだまだ改善しないといけないことが沢山ありますが、お陰様で楽しい学校に通っています。一つ一つ、家庭での過ごしを見つめ直したいです。
- 桂東小学校50周年、おめでとうございます。第1学期は地震、大雨と天災で休校になる日があったり、体育館が使用できなかったり、そんな状況の中でもしっかりと受け止め、たくましく、成長していること、親としてうれしく思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。